


武蔵村山市 令和6年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	樹木健全度判定委託事業（学校）			
	施策名称	第3章 安全で快適なまちづくり 第1節 安全・安心 1 災害対策			
	所管部署	教育 部	教育総務 課	教育施設 係	内線 452
	根拠法令等	—			
目的	各小中学校の敷地内の樹木は、開校当時に植木しているものも多く、老齢化等により衰弱しているものがあることから、樹木健全度判定調査を実施することにより現状を把握し、災害による倒木被害の未然防止を図る。			SDGsの取組 11 住み続けられるまちづくりを	
内容	調査対象樹木を全件外観診断し異常が認められた樹木を対象に、機器による詳細診断を行い樹木の健全度を判定する。				

評価指標	指標名		単位	区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	1	外観診断、詳細診断実施数	本	目標	—	106	129
				実績	—	106	
達成率				—	100%		
2	—	—	目標	—	—	—	
			実績	—	—		
			達成率	—	—		


事業経費		令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度予算	市民・議会等から寄せられた意見
事業費（千円）		0	1,166	2,000	
財源内訳	一般財源	-	1,166	2,000	
	国都支出金	-	0	0	
	その他	-	0	0	
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）	0	462	470	
	所要人員（人）	0.00	0.06	0.06	
	会計年度任用職員（千円）	0	0	0	
	所要人員（人）	0.00	0.00	0.00	
合計（事業費+人件費）		0	1,628	2,470	

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か	
		<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある
有効性 <td rowspan="2">市民のニーズに適合しているか</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適合している</td> <td><input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当</td>	市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		<input type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
効率性 <td>廃止・休止した場合の市民への影響</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい</td> <td><input type="checkbox"/> 影響は少ない <input type="checkbox"/> 非該当</td>	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない <input type="checkbox"/> 非該当
	受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
	施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある
効果性 <td>民間委託等は可能か</td> <td><input type="checkbox"/> 困難である</td> <td><input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当</td>	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
	事業費の更なる削減は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
	類似事業等との統合は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当

令和5年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
●小・中学校樹木健全度判定委託 1,160,000円  外観診断：106本 詳細診断：0本	小中学校の樹木は、場所により周辺からの目隠し、防風、防砂及び防音等の効果もあるため、判定結果により伐採木が多くなると新たに近隣対策の検討を要する。

今後の方針																						
【今後の方向性】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了 倒木は児童・生徒、学校関係者及び近隣住民等の人命や財産を損なうおそれがあり、未然に伐採するなどの対策が必要であることから、樹木の健全度判定調査を行い、必要な措置を講じていく。	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">今後の方針</th> </tr> <tr> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </thead></table> <p>(廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要)</p>			今後の方針			コスト			成果	向上				維持		○		低下			
				今後の方針																		
		コスト																				
成果	向上																					
	維持		○																			
	低下																					

武蔵村山市 令和6年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	非常用可搬型外部給電器配備事業		
	施策名称	第3章 安全で快適なまちづくり 第1節 安全・安心 1 災害対策		
	所管部署	総務部	防災安全課	災害対策係 内線 334
	根拠法令等	武蔵村山市地域防災計画		
	目的	大規模災害時における避難所の停電対策の充実を図る。		SDGsの取組 11 住み続けられるまちづくりを 
内容	災害時に停電が発生した場合における避難所の電力確保のため、電気自動車から電力供給を行えるように非常用可搬型外部給電器を配備する。			

評価指標	指標名	単位	区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度
				1	配備台数	台
			実績	2	1	
			達成率	100%	100%	
2	—	—	目標	—	—	—
			実績	—	—	
			達成率	—	—	


事業経費				令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度予算	市民・議会等から寄せられた意見
事業費（千円）				1,229	591	0	
財源内訳	一般財源	857	591	—			
	国都支出金	0	0	—			
	その他	372	0	—			
会計年度任用職員以外の職員（千円）				77	77	0	
人件費	所要人員（人）	0.01	0.01	0.00			
	会計年度任用職員（千円）	0	0	0			
	所要人員（人）	0.00	0.00	0.00			
合計（事業費+人件費）				1,306	668	0	

視点別の分析	内容	評価	
		<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある
妥当性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある
	市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
	市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない <input type="checkbox"/> 非該当
	受益者負担は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある <input type="checkbox"/> 非該当
	施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある
効率性	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
	事業費の更なる削減は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
	類似事業等との統合は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当

令和5年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
1台購入し、合計8台の備蓄数となっている。	可搬型外部給電器は、単独での使用はできず電気自動車が必要となることから、庁用車（電気自動車）の台数に合わせて調達する必要がある。 特定財源としてクリーンエネルギー自動車導入促進補助金（税抜き1/3補助）を充当しているが、本補助金終了時は一般財源の負担増となる。また、年度内早期終了の可能性があり、申請時期によっては補助を受けられない場合もある。

今後の方針																	
【今後の方向性】	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																
本事業は、災害時の避難所における電力確保のため、可搬型外部給電器を配備するものであり、令和5年度までは市で所有している庁用車（電気自動車）の台数（8台）を上限に購入することとしており、具体的な目標数を設定していなかった。 しかしながら、今後、庁用車（電気自動車）数の増加を想定すると流動的な状況となることから、小中学校（13校）に加え、風水害時に開設する可能性が高い避難所2施設（中藤地区会館及び総合体育館）に対して電気自動車を動力源とする可搬型外部給電器を配備していきたい。（令和6年5月時点：目標数15台に対し市備蓄数8台）	今後の方針 コスト <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		削減	維持	増加	向上				維持		○		低下			
		削減	維持	増加													
	向上																
	維持		○														
低下																	
	（廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要）																

武蔵村山市 令和6年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	災害ボランティア運営体制整備事業		
	施策名称	第3章 安全で快適なまちづくり 第1節 安全・安心 1 災害対策		
	所管部署	協働推進 部	協働推進 課	協働推進 係 内線 242
	根拠法令等	—		
目的	大規模な災害が発生した場合に、円滑な応援活動が行えるよう、社会福祉協議会、ボランティア・市民活動センター及び本市の三者で災害ボランティアセンターの設置に備える。	SDGsの取組 13 気候変動に具体的な対策を		
内容	災害ボランティアセンター設置・運営マニュアルを整備し、有事の際の設置に備える。また、マニュアルの内容に基づいた設置訓練等を実施し、効果的な災害ボランティアセンターの運営・活動の在り方を検討する。			

評価指標	指標名	単位	区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	1	災害ボランティアセンターマニュアルに基づく訓練の実施	回	目標	実施	実施
			実績	実施	未実施	
			達成率	—	—	
2	—	—	目標	—	—	—
			実績	—	—	
			達成率	—	—	


事業経費	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度予算	市民・議会等から寄せられた意見
事業費（千円）	0	0	2	
財源内訳				
一般財源	-	-	2	
国都支出金	-	-	0	
その他	-	-	0	
人件費				
会計年度任用職員以外の職員（千円）	1,452	1,462	784	
所要人員（人）	0.19	0.19	0.10	
会計年度任用職員（千円）	0	0	0	
所要人員（人）	0.00	0.00	0.00	
合計（事業費+人件費）	1,452	1,462	786	

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある
		市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		市民との協働により事業を実施しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
	有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない <input type="checkbox"/> 非該当
		受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある
	効率性	民間委託等は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		事業費の更なる削減は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		類似事業等との統合は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当

令和5年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
活動実績は特段ない。	実際に災害ボランティアセンターの設置・運営を実施した経験がないため、有事の際に円滑に活動できるよう他自治体の経験者からの体験談や、研修会等への参加を通じて、シミュレーションをしていく必要がある。

所管課の評価	今後の方針																									
	【今後の方向性】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																									
	引き続き、有事の際に備え、災害ボランティアセンターの設置訓練を行い、社会福祉協議会、ボランティア・市民活動センター及び本市の三者で反省点や改善点等を確認・共有するとともに、その結果も踏まえてマニュアルの見直しを適宜行っていく。																									
	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">今後の方針</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			今後の方針		コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
	今後の方針		コスト																							
			削減	維持	増加																					
	成果	向上																								
		維持		○																						
		低下																								
	(廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要)																									

武蔵村山市 令和6年度補助金等評価調書

補助金等の概要	補助金等名	ブロック塀撤去工事等助成金交付事業		
	施策名称	第3章 安全で快適なまちづくり 第1節 安全・安心 1 災害対策		
	所管部署	総務部	防災安全課	災害対策係 内線 335
	根拠法令等	令和5年度武蔵村山市ブロック塀等安全対策費用助成金交付要綱		
	目的	地震発生時における市民の安全の確保及び災害に強いまちづくりを推進する。		SDGsの取組 11 住み続けられるまちづくりを
内容	避難路に面している危険なブロック塀等を安全な状態にするために行うブロック塀等の撤去、建替工事に係る費用の一部を助成する。			
対象（交付先）	市民			

評価指標	指標名	単位	区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度
				1	助成件数	件
			実績	4	3	
			達成率	40%	30%	
2			目標	-	-	-
			実績	-	-	
			達成率	-	-	

補助金	事業経費				市民・議会等から寄せられた意見
	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度予算		
交付金額（千円）	1,763	1,756	8,283		-
一般財源	443	441	1,334		
国都支出金	1,320	1,315	6,949		
その他	0	0	0		
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）				他市等の状況 多摩地域26市中20市が同様の助成事業を実施している（除却のみを対象としている市を含む。）。
所要人員（人）	0.12	0.12	0.12		
会計年度任用職員（千円）	0	0	0		
所要人員（人）	0.00	0.00	0.00		
合計（補助金+人件費）	2,681	2,680	9,223		

収入	交付団体等の決算予算の状況				交付団体等の令和5年度の市補助金の使途
	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度予算		
総額（千円）	0	0	0		交付金額（千円） 1,756
市補助金	-	-	-		使途内訳
会費	-	-	-		
繰越金	-	-	-		
事業収入	-	-	-		
その他	-	-	-		
支出	総額（千円）				割合（%）
交際費、飲食費	-	-	-		団体収入に占める補助金の割合
人件費	-	-	-		団体収入に占める繰越金の割合
事業経費	-	-	-		交付金額に対する繰越金の割合
その他	-	-	-		


視点別の分析	内容	評価	
		○	□
公益性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある
	市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
	一般市民にも間接的な受益があるか	<input checked="" type="checkbox"/> 受益がある	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない <input type="checkbox"/> 非該当
	補助基準は明確か	<input checked="" type="checkbox"/> 明確である	<input type="checkbox"/> 不明確な部分がある
効率性	補助金の交付により期待された効果が得られたか	<input checked="" type="checkbox"/> 効果がある	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
	補助内容や補助額の見直しは可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
率	補助期間を設定しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 設定している	<input type="checkbox"/> 設定していない
性	類似の補助金との統合は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当

令和5年度の実績		補助金交付に当たっての課題
交付額 3件	交付額 1,756千円	本補助金の対象となるブロック塀の撤去・建替工事の実施は、所有者自身の判断によるものとなることから、本制度の利用促進を図り倒壊防止対策を講じるため、市民に対してブロック塀倒壊の危険性及び本助成金の効果的な周知方法の検討が課題である。

今後の方針			
【今後の方向性】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了			
本事業は、武蔵村山市地域防災計画に基づき、避難路に面しているブロック塀等の倒壊防止対策を図るために行うものであり、地震発生時における市民の安全確保につながるため、令和6年度も継続して実施する。			
また、市内の危険なブロック塀等の実態把握を行い、その結果を踏まえた市民への周知方法についても検討を行っていく。			
なお、補助額等の見直しについては、国及び都補助の状況を注視して検討を行っていく。			
成果	向上		
	維持	○	
	低下		

（廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要）

武蔵村山市 令和6年度補助金等評価調書

補助金等の概要	補助金等名	木造住宅耐震改修等助成事業		
	施策名称	第3章 安全で快適なまちづくり 第1節 安全・安心 1 災害対策		
	所管部署	総務部	防災安全課	災害対策係 内線 335
	根拠法令等	令和6年度武蔵村山市木造住宅耐震改修等補助金交付要綱		
	目的	地震発生時における市民の住環境における安全性の向上を図り、もって市民が安心して暮らせる災害に強いまちづくりを推進する。		SDGsの取組 11 住み続けられるまちづくりを
内容	昭和56年5月31日以前に建築に着手された一戸建の木造住宅に対する耐震診断及び耐震改修又は簡易耐震改修に係る費用の一部を助成する。			
対象(交付先)	市民			

評価指標	指標名	単位	区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度
				1	助成件数(耐震診断)	件
			実績	0	0	
			達成率	0%	0%	
2	助成件数(耐震改修等)	件	目標	2	2	3
			実績	0	0	
			達成率	0%	0%	

事業経費				令和4年度決算			令和5年度決算			令和6年度予算		
補助金	交付金額(千円)	0			0			1,100				
	一般財源	-			-			760				
	国都支出金	-			-			340				
	その他	-			-			0				
人件費	会計年度任用職員以外の職員(千円)	77			77			157				
	所要人員(人)	0.01			0.01			0.02				
	会計年度任用職員(千円)	0			0			0				
	所要人員(人)	0.00			0.00			0.00				
合計(補助金+人件費)		77			77			1,257				

**市民・議会等から寄せられた意見**

- 耐震改修等に対する補助額が低いため、補助金の申請を見送る(市民)。
- 耐震改修等に対する補助額が低いため、他市等の状況を踏まえ額の改定を検討した方がよいと考える(東京都建築士事務所協会)。

**他市等の状況**

近隣7市町のうち、全市町が耐震診断及び耐震改修を実施している(簡易耐震改修は2市のみ)。  
なお、耐震診断の上限額は、本市10万円、他市の状況は5~10万円(平均9万円)。耐震改修の上限額は、本市30万円、他市の状況は30~100万円(平均67万円)。

交付団体等の決算予算の状況				令和4年度決算			令和5年度決算			令和6年度予算		
収入	総額(千円)	0			0			0				
	市補助金	-			-			-				
	会費	-			-			-				
	繰越金	-			-			-				
	事業収入	-			-			-				
支出	総額(千円)	0			0			0				
	交際費、飲食費	-			-			-				
	人件費	-			-			-				
	事業経費	-			-			-				
	その他	-			-			-				

**交付団体等の令和5年度の市補助金の使途**

交付金額(千円)	0
使途内訳	
割合(%)	
団体収入に占める補助金の割合	—
団体収入に占める繰越金の割合	—
交付金額に対する繰越金の割合	—

視点別の分析	公益性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある
	有効性	市民のニーズに適合しているか	<input type="checkbox"/> 適合している	<input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		一般市民にも間接的な受益があるか	<input checked="" type="checkbox"/> 受益がある	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
	効率性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない <input type="checkbox"/> 非該当
		補助基準は明確か	<input checked="" type="checkbox"/> 明確である	<input type="checkbox"/> 不明確な部分がある
	率性	補助金の交付により期待された効果が得られたか	<input checked="" type="checkbox"/> 効果がある	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		補助内容や補助額の見直しは可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		補助期間を設定しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 設定している	<input type="checkbox"/> 設定していない
	類似の補助金との統合は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当	

令和5年度の実績	補助金交付に当たっての課題
交付件数 0件	耐震改修促進計画において、市内の2,733戸の住宅が耐震化を図る必要があると示されているが、平成29年度以降耐震診断等の申請実績は0件である。 令和5年度及び令和6年度に本補助金に関する相談があったが、耐震改修に対する補助額が低いことから、申請につながらなかったケースがあるため、国及び都補助金の活用を前提に、補助額を見直す必要がある。

【今後の方向性】  拡充  現状維持  縮小・見直し  廃止・休止・終了

令和5年度及び令和6年度に本補助金について相談があったが、耐震改修等に対する補助額が低いことから、申請を見送られるケースがあったため、令和7年度は国及び都の補助を受けることを前提に、補助額の増額を検討中である。

		今後の方針		
		コスト		
成果	向上			○
	維持			
	低下			


(廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要)

所管課の評価


外部評価調書（事務事業）

事務事業名		木造住宅耐震改修等助成事業	
所管部署		総務部 防災安全課 災害対策係	
視点別の評価	公益性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市の関与は必要か</li> <li>・市民のニーズに適合しているか</li> <li>・一般市民にも間接的な受益があるか</li> </ul>	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 妥当でない
	有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・廃止・休止とした場合の市民への影響</li> <li>・補助基準は明確か</li> <li>・補助金の交付により期待された効果が得られたか</li> </ul>	<input type="checkbox"/> 適切である <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 適切でない
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・補助内容や補助額の見直しは可能か</li> <li>・補助期間を設定しているか</li> <li>・類似の補助金との統合は可能か</li> </ul>	<input type="checkbox"/> 効率的である <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 効率的でない
総合評価	今後の方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了	
	<p>本事業は、旧耐震基準の木造住宅に対する耐震診断及び耐震改修等に係る費用の一部を助成することにより、地震発生時における助成対象住宅に居住する市民の生命・財産を守るだけでなく地域の安全性の向上に資するものであり、その意義は十分に認められることから、今後も継続することが適当である。</p> <p>他方、第二次耐震改修促進計画で目標とする要耐震改修住宅戸数2,733戸を令和7年度までにおおむね解消することは困難な状況となっており、耐震化の必要性を啓発し、申請者をいかに増やすかが課題となっている。また、交付実績が低調である理由としては、耐震改修に係る費用に対して補助額が少ないことに加え、住宅の耐震化の必要性に対する市民の認識が不十分であることが考えられると思料する。</p> <p>よって、国や都の補助金を活用することで補助額の増額を検討することが望ましい。</p> <p>また、耐震診断に係る補助について、まちづくりや地域コミュニティ関連の部署と連携し、周知対象を耐震補強が必要な住宅が密集する地域に絞り啓発活動を行うことや、耐震診断結果に応じた改修内容や工事費用の目安を明記して分かりやすくするなど、より効果的な周知方法等について検討し工夫改善することを求めたい。</p>		

武蔵村山市 令和6年度事務事業評価調書

事務事業の概要	事務事業名		福祉避難所運営事業			
	施策名称		第3章 安全で快適なまちづくり 第1節 安全・安心 1 災害対策			
事務事業の内容	所管部署		健康福祉 部 障害福祉 課 業務 係 内線 642			
	内容		<p>市内で地震、風水害その他の災害が発生し、又は発生するおそれのある場合に、一次避難所での生活に支障がある高齢者や障害者を受け入れる二次避難所（福祉避難所）を開設する必要がある。</p> <p>市と「災害時における二次避難所（福祉避難所）の開設等に関する協定（以下「協定」という。）」を締結している事業所に対し、災害対策基本法に基づく指定避難所の指定を行った上で、備蓄品の補助や防災訓練等を実施することにより、災害発生時における要援護者等の円滑な避難場所となる福祉避難所の設置運営体制を整備するもの。</p>			
		SDGsの取組		11 住み続けられるまちづくりを		
						
事務事業の実績	事業経費		令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度予算	
	事業費（千円）		0	0	2,000	
	財源内訳	一般財源	-	-	2,000	
		国都支出金	-	-	0	
		その他	-	-	0	
		合計	-	-	0	
	人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）		765	770	3,916
		所要人員（人）		0.10	0.10	0.50
		会計年度任用職員（千円）		0	0	0
		所要人員（人）		0.00	0.00	0.00
合計（事業費+人件費）		765	770	5,916		
令和5年度の検討状況						
市と協定を締結している事業所に対し、指定福祉避難所の必要性を説明するとともに、開設運営マニュアル（案）を作成した。						
所管課の評価	事務事業の評価			事務事業の今後の進め方		
	【達成度】	<input type="checkbox"/> 目標以上 <input type="checkbox"/> 目標どおり <input checked="" type="checkbox"/> 目標以下 <input type="checkbox"/> その他			市と協定を締結している事業所との協議を進め、災害対策基本法に基づく指定避難所の指定を行った上で、避難所の開設に必要な消耗品や資機材を購入する費用を補助し、円滑な避難所運営体制を整える。	
【理由】	市と協定を締結している事業所に対し、福祉避難所の運営に必要な物資の調査を行ったものの、指定に係る具体的な取組までは進んでいないため。					

武蔵村山市 令和6年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	雨水対策事業		
	施策名称	第3章 安全で快適なまちづくり 第1節 安全・安心 1 災害対策		
	所管部署	都市整備 部	道路下水道 課	維持補修 係 内線 263
	根拠法令等	—		
目的	近年の集中豪雨に伴い発生する道路冠水や住宅浸水の被害を軽減することを目的としている。	SDGsの取組 11 住み続けられるまちづくりを 		
内容	道路冠水箇所に貯留型雨水浸透槽や浸透柵等を設置することにより、小規模な街区単位での浸水被害の軽減を図っている。			

評価指標	指標名	単位	区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度
				1	冠水又は浸水等の被害が発生する道路等の改修件数	件
			実績	12	1	
			達成率	600%	20%	
2	—	—	目標	—	—	—
			実績	—	—	—
			達成率	—	—	—

事業経費		令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度予算	市民・議会等から寄せられた意見 例年、多くの市民等から要望等を受けている。このうち、被害状況や作業範囲等を勘案して、市職員による対応や年間の工事請負契約を締結している土木業者による作業で対応可能なものは速やかに解消している。一方、時間や費用を要する複数の案件があり、早期の対応を繰り返し求められている。
事業費(千円)		8,111	7,990	23,430	
財源内訳	一般財源	911	890	2,430	
	国都支出金	7,200	7,100	21,000	
	その他	0	0	0	
人件費	会計年度任用職員以外の職員(千円)	765	770	784	
	所要人員(人)	0.10	0.10	0.10	
	会計年度任用職員(千円)	0	0	0	
	所要人員(人)	0.00	0.00	0.00	
合計(事業費+人件費)		8,876	8,760	24,214	


視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある
		市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
	有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない <input type="checkbox"/> 非該当
		受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある
	効率性	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		事業費の更なる削減は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		類似事業等との統合は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当

令和5年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
<ul style="list-style-type: none"> <li>●横断U字溝新設2.4m アスファルト舗装6.0㎡ (1,247,499円)</li> <li>●U字溝撤去、新設18.5m 集水柵新設1か所 (1,727,503円)</li> <li>●アスファルト舗装517㎡ (3,809,007円)</li> <li>●集水柵新設1か所、グレーチング新設6枚 (1,205,481円)</li> </ul>	公共雨水管が未整備の道路においては、原則、道路用地内に設置する浸透施設で雨水を処理する。 しかし、狭い道路は整備に必要な場所を確保できないことや、雨水量が多く、浸透施設による雨水流出への対処に苦慮する地域もあるため、時間と費用を要する。


今後の方針																								
【今後の方向性】	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																							
本事業は、道路冠水等の被害の軽減を図る重要な取組であることから、今後も継続していく。 排水施設等の設置に当たっては、冠水等の被害状況等を勘案しながらその周辺状況や地形等を考慮し、最大の効果が発揮されるよう、整備すべき道路の施工箇所を決定して解消を図る。	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">今後の方針</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	今後の方針		コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
今後の方針		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持		○																					
	低下																							
(廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要)																								



武蔵村山市 令和6年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	(主) 84号線雨水対策事業					
	施策名称	第3章 安全で快適なまちづくり 第1節 安全・安心 1 災害対策					
	所管部署	都市整備 部	道路下水道 課	維持補修 係 内線 263			
	内容	当該路線には排水施設が未整備であることから、本事業により大雨時に発生する道路冠水の解消を図る。 区間：大南四丁目45番地先から同57番地先まで 延長70.5m、幅員4.0mに排水及び浸透施設を設置するもの。		SDGsの取組 11 住み続けられるまちづくりを 			
事務事業の実績	事業経費		令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度予算	令和5年度の検討状況 令和3年度以降、毎年市民要望を受け付けている。⑤実施計画には「検討」として位置付けられているため、事業の実績なし。	
	事業費(千円)		0	0	8,800		
	財源内訳	一般財源	-	-	0		
		国都支出金	-	-	8,800		
		その他	-	-	0		
	人件費	会計年度任用職員以外の職員(千円)		77	77		79
		所要人員(人)		0.01	0.01		0.01
会計年度任用職員(千円)		0	0	0			
		所要人員(人)	0.00	0.00	0.00		
合計(事業費+人件費)		77	77	8,879			
所管課の評価	事務事業の評価			事務事業の今後の進め方			
	【達成度】	<input type="checkbox"/> 目標以上 <input type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標以下 <input checked="" type="checkbox"/> その他 本事業は、道路冠水の解消を図る重要な取組であることから、引き続き実施計画事業として要求しており、令和6年度中に設計、工事を施工していく。			当該路線の整備に関しては、⑥実施計画事業として要求しており、以下のとおり事業を実施していく。 【スケジュール】 令和6年9月：設計終了 令和6年10月：工事契約の締結及び工事着工 令和7年3月：工事完了		

武蔵村山市 令和6年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	道路雨水吸込槽浚渫事業				
	施策名称	第3章 安全で快適なまちづくり 第1節 安全・安心 1 災害対策				
	所管部署	都市整備 部	道路下水道 課	維持補修 係	内線	263
	根拠法令等	—				
目的	浸透槽の設置により雨水を処理しており、その浸透施設に溜まる汚泥や落ち葉などを定期的に清掃することにより雨水排水の改良を図る。				SDGsの取組 11 住み続けられるまちづくりを	
内容	浚渫を必要とする浸透施設は125施設あり、そのうち主要施設は49施設で、毎年2回実施している。また、新設及び開発行為に伴う移管施設は76施設あり、3年に1回のローリングで実施している。					

評価指標	指標名	単位	区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度
				1	浚渫工及び汚泥処分（一式）	件
			実績	1	1	
			達成率	100%	100%	
2	—	—	目標	—	—	—
			実績	—	—	
			達成率	—	—	


事業経費		令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度予算	市民・議会等から寄せられた意見 中小の浸透施設は必要に応じて浚渫を実施している。浚渫要望（冠水による苦情）は市民や議員から受付して適宜対応している。
事業費（千円）		14,045	13,939	16,058	
財源内訳	一般財源	14,045	13,939	16,058	
	国都支出金	0	0	0	
	その他	0	0	0	
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）	765	770	784	
	所要人員（人）	0.10	0.10	0.10	
	会計年度任用職員（千円）	0	0	0	
	所要人員（人）	0.00	0.00	0.00	
合計（事業費+人件費）		14,810	14,709	16,842	

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある
		市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
	有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない <input type="checkbox"/> 非該当
		受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある
	効率性	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		事業費の更なる削減は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		類似事業等との統合は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当

令和5年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
<ul style="list-style-type: none"> <li>●主要施設49か所（年2回）</li> <li>●新規・移管施設21か所（年1回）</li> </ul>	雨水吸込槽は、住宅開発に伴い施工主により設置され、設置後に市へ移管されることから管理件数は毎年増加している。これに伴い必要経費が増加することが課題である。

今後の方針																								
【今後の方向性】	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																							
道路より地盤が低く冠水しやすい場所が多数存在するため、浚渫により排水施設の機能を確保する必要性は高い。 一方、道路に設置した浸透施設の作業状況を確認する限り、年2回の浚渫を実施するほどの汚泥やゴミが認められない箇所もあり、作業頻度など一部見直しを図る必要がある。																								
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">今後の方針</th> </tr> <tr> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th>維持</th> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				今後の方針			コスト			成果	向上	削減	維持	増加	維持	○				低下				
				今後の方針																				
		コスト																						
成果	向上	削減	維持	増加																				
	維持	○																						
	低下																							
(廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要)																								

武蔵村山市 令和6年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	(仮称) 防災食育センター整備事業		
	施策名称	第3章 安全で快適なまちづくり 第1節 安全・安心 1 災害対策		
	所管部署	教育 部	学校給食 課	学校給食センター 560-2597
	根拠法令等	防衛施設周辺の生活環境の整備等に関する法律		
目的	災害時には応急給食の調理や救援物資(食料関係)の集配などを行う防災拠点として機能し、平常時には小学校給食の調理や食育推進のための事業などを行う(仮称)防災食育センターを整備する。	SDGsの取組 11 住み続けられるまちづくりを 		
内容	令和4年度及び令和5年度に引き続き施設整備工事を実施し、竣工した後、調理機器等全ての物品を購入する。			

評価指標	指標名	単位	区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度
				1	施設整備工事の執行率 (工事総額に対する当該年度実績額の割合)	%
			実績	7.3	6.5	
			達成率	116%	49%	
2	防災食育センター備品整備基金の積立額 (年度末積立総額)	千円	目標	160,000	180,000	—
			実績	160,000	180,000	
			達成率	100%	100%	


事業経費		令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度予算	市民・議会等から寄せられた意見	
事業費(千円)		323,186	294,967	4,249,575		市議会定例会や教育委員会定例会において、各議員等から当該整備事業に期待を寄せている旨の発言があった。
財源内訳	一般財源	186	87,821	230,358		
	国都支出金	248,000	39,046	2,716,417		
	その他	75,000	168,100	1,302,800		
人件費	会計年度任用職員以外の職員(千円)	7,642	7,692	7,832		
	所要人員(人)	1.00	1.00	1.00		
	会計年度任用職員(千円)	0	0	0		
	所要人員(人)	0.00	0.00	0.00		
合計(事業費+人件費)		330,828	302,659	4,257,407		

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある
		市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
	有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない <input type="checkbox"/> 非該当
		受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある
	効率性	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		事業費の更なる削減は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		類似事業等との統合は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当

令和5年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
<p>既存施設(旧第二学校給食センター)の除却が完了した後、主に基礎工事等を行い、年度末には鉄骨建方工事に着手した。また、地中埋設物の撤去工事を別途実施した。</p> <p>厨房設備工事については、工事請負契約を令和5年6月に締結し、施工に向け、建築及びその他設備工事施工者との必要な調整を行った。</p> <p>また、令和6年3月に防災食育センター備品整備基金への積立てを行い、最終目標額の積立てを完了した。なお、令和6年度に備品の納品が完了した際、全額取り崩し、財源充当する予定である。</p>	<p>主な財源となる防衛補助を所管する北関東防衛局との調整はもとより、令和4年度から令和6年度までの継続費で計上している工事請負費等の予算執行について、関係課と随時協議しながら慎重に対応していく必要がある。</p> <p>また、施設整備用物品の購入に当たり、適切な仕様書を調製し、適切な時期に必要な物品購入契約を締結できるよう慎重に事務を進めていく必要がある。</p>

今後の方針																								
【今後の方向性】	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																							
施設整備工事については、防衛補助事業として実施していることから、工事の各工程については実施設計に基づき実施し、突発事項等については関係機関及び関係課と必要な調整を図りながら対応していく。また、竣工後の準備期間も含めた運営業務を支障なく開始するため、整備用物品が迅速かつ適切な時期に納品できるよう鋭意調整を図りながら事務を進めていく。	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">今後の方針</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	今後の方針		コスト					削減	維持	増加	成果	向上			○	維持				低下			
今後の方針		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上			○																				
	維持																							
	低下																							
(廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要)																								

武蔵村山市 令和6年度補助金等評価調書

補助金等の概要	補助金等名	防災士資格取得支援事業		
	施策名称	第3章 安全で快適なまちづくり 第1節 安全・安心 1 災害対策		
	所管部署	総務部	防災安全課	災害対策係 内線 335
	根拠法令等	武蔵村山市防災士資格取得支援事業助成金交付要綱		
	目的	地域防災力の向上を目的に、防災に関する一定の知識、技術を有する防災士の資格取得を支援する。		SDGsの取組 11 住み続けられるまちづくりを
内容	市内の自主防災組織に所属し、該当団体の長から推薦を受けた者又は消防団において分団長以上の階級を務めた経験を有するものを対象に、防災士資格の取得費用を助成する。			
対象（交付先）	市民			

評価指標	指標名	単位	区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度
				1	資格取得者数	人
			実績	10	2	-
			達成率	200%	40%	-
2	-	-	目標	-	-	-
			実績	-	-	-
			達成率	-	-	-

事業経費				令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度予算
補助金	交付金額（千円）	85	76	0		
	一般財源	85	76	-		
	国都支出金	0	0	-		
	その他	0	0	-		
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）	459	462	0		
	所要人員（人）	0.06	0.06	0.00		
	会計年度任用職員（千円）	0	0	0		
	所要人員（人）	0.00	0.00	0.00		
合計（補助金+人件費）		544	538	0		

**市民・議会等から寄せられた意見**  
議会から、助成対象範囲の拡大の検討について意見があった。

**他市等の状況**  
多摩地域では、青梅市、稲城市、立川市等で防災士資格取得の助成実績がある。

交付団体等の決算予算の状況				令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度予算
収入	総額（千円）	0	0	0		
	市補助金	-	-	-		
	会費	-	-	-		
	繰越金	-	-	-		
	事業収入 その他	-	-	-		
支出	総額（千円）	0	0	0		
	交際費、飲食費	-	-	-		
	人件費	-	-	-		
	事業経費	-	-	-		
	その他	-	-	-		

**交付団体等の令和5年度の市補助金の使途**

交付金額（千円）	76
使途内訳	
割合（％）	
団体収入に占める補助金の割合	—
団体収入に占める繰越金の割合	—
交付金額に対する繰越金の割合	—

視点別の分析	公益性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある
	有効性	市民のニーズに適合しているか	<input type="checkbox"/> 適合している	<input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		一般市民にも間接的な受益があるか	<input checked="" type="checkbox"/> 受益がある	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
	効果性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は少ない <input type="checkbox"/> 非該当
		補助基準は明確か	<input checked="" type="checkbox"/> 明確である	<input type="checkbox"/> 不明確な部分がある
	効率性	補助金の交付により期待された効果が得られたか	<input type="checkbox"/> 効果がある	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		補助内容や補助額の見直しは可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
	類同性	補助期間を設定しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 設定している	<input type="checkbox"/> 設定していない
類似の補助金との統合は可能か		<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当	

令和5年度の実績	補助金交付に当たっての課題
助成金交付者：2人 助成額：75,792円（内訳：①66,792円、②9,000円）	本助成制度について周知しているが、自主防災組織等からの資格取得者は少なく、資格取得希望者の確保が課題である。


【今後の方向性】  拡充  現状維持  縮小・見直し  廃止・休止・終了

本事業は、平成29年度から開始しており、地域防災力向上のため本助成制度の周徹底に努めるとともに、助成対象範囲の拡大を図ってきたが、自主防災組織等からの資格取得者は少ない状況である。  
よって、本制度で支援した防災士の活用及び連携方法や、それを踏まえた助成対象範囲の拡大や目標設定等の再検討を行い、令和7年度の補助事業再開を目指していく。

		今後の方針		
		コスト		
成果	向上		○	
	維持			
	低下			

（廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要）

武蔵村山市 令和6年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	一般河川整備事業				
	施策名称	第3章 安全で快適なまちづくり 第1節 安全・安心 1 災害対策				
	所管部署	都市整備 部	道路下水道 課	維持補修 係	内線	263
	根拠法令等	河川法				
目的	市で管理する小河川及び水路について、河床や護岸が未整備である箇所や河川敷から民家へ水が流出する箇所があることから、溢水防止を図るため計画的に整備を実施する。				SDGsの取組 11 住み続けられるまちづくりを 	
内容	河床や護岸の打設及び老朽化した部分の改修等を行う。					

評価指標	指標名	単位	区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度
				1	河床及び護岸設置工等（一式）	件
			実績	6	2	
			達成率	600%	200%	
2			目標	—	—	—
			実績	—	—	
			達成率	—	—	

事業経費		令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度予算	市民・議会等から寄せられた意見	
事業費（千円）		1,428	3,152	2,700		市民より、溢水防止、護岸劣化、及び転落防止柵の設置等の要望を受け付けている。その他、未解決要望は数件ある。
財源内訳	一般財源	228	752	2,700		
	国都支出金	1,200	2,400	0		
	その他	0	0	0		
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）	765	1,154	1,175		
	所要人員（人）	0.10	0.15	0.15		
	会計年度任用職員（千円）	0	0	0		
	所要人員（人）	0.00	0.00	0.00		
合計（事業費+人件費）		2,193	4,306	3,875		

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か	
		<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある
有効性	市民との協働により事業を実施しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		<input type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
効率性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない <input type="checkbox"/> 非該当
	受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
	施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある
効果性	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
	事業費の更なる削減は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
	類似事業等との統合は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当

令和5年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
<ul style="list-style-type: none"> <li>●谷戸川改修整備工事（457,600円）</li> <li>●河川整備工事（686,317円）</li> <li>●側溝蓋改修工事（2,007,964円）</li> </ul>	市が管理する小河川及び水路には、未改修のため溢水により住民に被害を与えた場所があり、対応を要する。また、護岸の劣化が進行している場所も散見される。

今後の方針																							
【今後の方向性】	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																						
小河川及び水路の河床や護岸など既設物件の劣化状況や溢水による被害等を勘案しながら施工場所を選定して整備を図る。																							
成果	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="3">今後の方針</th> </tr> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	今後の方針				コスト			削減	維持	増加	向上				維持		○		低下			
	今後の方針																						
		コスト																					
削減		維持	増加																				
向上																							
維持		○																					
低下																							
(廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要)																							

武蔵村山市 令和6年度補助金等評価調書

補助金等の概要	補助金等名	消防団準中型・中型免許取得補助事業			
	施策名称	第3章 安全で快適なまちづくり 第1節 安全・安心 2 消防体制			
	所管部署	総務部	防災安全課	消防係	内線 333
	根拠法令等	武蔵村山市消防団員準中型自動車及び中型自動車運転免許取得費補助金交付要綱			
	目的	消防団員に対し、その所属する分団に配備されている準中型自動車及び中型自動車の運転資格の取得費用を補助することにより、消防団員の確保を図り、もって消防団活動を安定的に実施する。			SDGsの取組 11 住み続けられるまちづくりを
内容	所属する分団に配備されている車両の運転資格の取得費用を補助する。				
対象（交付先）	武蔵村山市消防団員				



評価指標	指標名	単位	区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度
				1	補助実績	件
			実績	3	4	
			達成率	75%	100%	
2			目標	-	-	-
			実績	-	-	
			達成率	-	-	

事業経費				令和4年度決算			令和5年度決算			令和6年度予算		
補助金	交付金額（千円）	292	621	901	市民・議会等から寄せられた意見							
	一般財源	292	621	451	-							
	国都支出金	0	0	0								
	その他	0	0	450								
合計	292	621	901									
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）	153	154	157	他市等の状況							
	所要人員（人）	0.02	0.02	0.02	多摩地区26市中8市が同様の補助事業を行っている。							
	会計年度任用職員（千円）	0	0	0								
	所要人員（人）	0.00	0.00	0.00								
合計（補助金+人件費）	445	775	1,058									

交付団体等の決算予算の状況				令和4年度決算			令和5年度決算			令和6年度予算		
収入	総額（千円）	0	0	0	交付団体等の令和5年度の市補助金の使途							
	市補助金	-	-	-	交付金額（千円）							
	会費	-	-	-	621							
	繰越金	-	-	-	使途内訳							
	事業収入	-	-	-								
支出	総額（千円）	0	0	0	割合（%）							
	交際費、飲食費	-	-	-	団体収入に占める補助金の割合							
	人件費	-	-	-	-							
	事業経費	-	-	-	団体収入に占める繰越金の割合							
	その他	-	-	-	-							

視点別の分析	公益性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある
	有効性	市民のニーズに適合しているか	<input type="checkbox"/> 適合している	<input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地がある
		一般市民にも間接的な受益があるか	<input type="checkbox"/> 受益がある	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある
	効果性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない
		補助基準は明確か	<input checked="" type="checkbox"/> 明確である	<input type="checkbox"/> 不明確な部分がある
	効率性	補助金の交付により期待された効果が得られたか	<input checked="" type="checkbox"/> 効果がある	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある
		補助内容や補助額の見直しは可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある
	継続性	補助期間を設定しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 設定している	<input type="checkbox"/> 設定していない
類似の補助金との統合は可能か		<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	

令和5年度の実績	補助金交付に当たっての課題
準中型免許（5t）限定解除 2件 中型免許 1件 準中型免許 1件	免許取得に係る費用が一時消防団員の自己負担となることや、免許取得には一定程度の時間が必要で団員のプライベートの時間を費やすことから、資格取得を躊躇する団員がいるとの声があり、資格取得希望者をいかに増やすか検討が必要である。


【今後の方向性】  拡充  現状維持  縮小・見直し  廃止・休止・終了

本事業は、道路交通法の一部を改正する法律の施行に伴い、新たに創設された「準中型自動車免許」を含む消防団で所有する車両に対する運転資格の取得費用を補助し、消防団活動を安定的に実施するよう図るものであり、今後も積極的に消防団員に周知し、事業を継続していく。

		今後の方針			
		コスト			
成果	向上	削減	維持	増加	
	維持		○		
	低下				

（廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要）

武蔵村山市 令和6年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	防火水槽整備事業		
	施策名称	第3章 安全で快適なまちづくり 第1節 安全・安心 2 消防体制		
	所管部署	総務部	防災安全課	消防係 内線 333
	根拠法令等	震災時の消防水利整備基準		
	目的	水利不足地域への防火水槽の設置を実施し震災対策を行う。		SDGsの取組 11 住み続けられるまちづくりを 
内容	災害時には消火栓等の水道管を経由する水利の使用不能が見込まれることから防火水槽を整備し震災時の不足メッシュを解消する。			

評価指標	指標名	単位	区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
	1	防火水槽の設置件数	件	目標	1	1	—
				実績	1	1	
達成率				100%	100%		
2	—	—	目標	—	—	—	
			実績	—	—		
			達成率	—	—		


  

事業経費		令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度予算	市民・議会等から寄せられた意見
事業費(千円)		23,727	20,334	0	
財源内訳	一般財源	4,627	20,334	—	
	国都支出金	0	0	—	
	その他	19,100	0	—	
人件費	会計年度任用職員以外の職員(千円)	2,293	2,308	0	
	所要人員(人)	0.30	0.30	0.00	
	会計年度任用職員(千円)	0	0	0	
	所要人員(人)	0.00	0.00	0.00	
合計(事業費+人件費)		26,020	22,642	0	

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か	
		<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある
有効性	市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		<input type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
効率性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない <input type="checkbox"/> 非該当
	受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
	施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある
効果性	民間委託等は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
	事業費の更なる削減は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
	類似事業等との統合は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当

令和5年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題																					
経塚向公園に40t級の防火水槽を設置した。	既存の防火水槽の中には、耐用年数を経過した防火水槽が見込まれることから、経年劣化状況を踏まえ、点検及び修繕等を計画的に行う必要がある。																					
今後の方針																						
【今後の方向性】 <input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了 災害時に水道施設の破損等が生じた場合など、断水時の消防水利確保のため、公園等に防火水槽等消防水利を整備するものである。設置に当たっては、民地は土地所有者の事情で撤去の可能性が想定されるため、公共施設用地を活用し、新規設置と並行しつつ、既存の防火水槽の経年劣化状況等を把握し修繕等の検討を行う。																						
<table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">今後の方針</th> </tr> <tr> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </thead> </table> <p style="text-align: right; font-size: small;">(廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要)</p>				今後の方針			コスト			成果	向上			○	維持				低下			
				今後の方針																		
		コスト																				
成果	向上			○																		
	維持																					
	低下																					

武蔵村山市 令和6年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	消火栓改修事業		
	施策名称	第3章 安全で快適なまちづくり 第1節 安全・安心 2 消防体制		
	所管部署	総務部	防災安全課	消防係 内線 333
	根拠法令等	上水道における消火栓の設置、維持補修等に関する協定書 上水道における消火栓補償費に関する覚書		
	目的	消火栓の増設及び維持管理により消防施設の整備、充実を図る。	SDGsの取組 11 住み続けられるまちづくりを	
内容	東京都水道局による上水道への消火栓の設置、維持管理等に関する費用について補償する。			

評価指標	指標名		単位	区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	1	消火栓の設置等の実績	件	目標	—	—	—
				実績	9	12	
達成率				—	—		
2	—	—	目標	—	—	—	
			実績	—	—		
			達成率	—	—		

事業経費		令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度予算	市民・議会等から寄せられた意見
事業費(千円)		28,533	27,190	32,174	
財源内訳	一般財源	28,533	27,190	32,174	
	国都支出金	0	0	0	
	その他	0	0	0	
人件費	会計年度任用職員以外の職員(千円)	2,293	2,308	2,350	
	所要人員(人)	0.30	0.30	0.30	
	会計年度任用職員(千円)	0	0	0	
	所要人員(人)	0.00	0.00	0.00	
合計(事業費+人件費)		30,826	29,498	34,524	


視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か		<input checked="" type="checkbox"/>	必要である	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある	
		市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/>	適合している	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある	<input type="checkbox"/>	非該当
有効性	市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/>	実施している	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当	
		廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/>	影響は大きい	<input type="checkbox"/>	影響は少ない	<input type="checkbox"/>	非該当
効果率	民間委託等は可能か	<input checked="" type="checkbox"/>	困難である	<input type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input type="checkbox"/>	非該当	
		受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/>	適切である	<input type="checkbox"/>	不適切な部分がある	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当
効率性	施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/>	適切である	<input type="checkbox"/>	不適切な部分がある			
		事業費の更なる削減は可能か	<input checked="" type="checkbox"/>	困難である	<input type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input type="checkbox"/>	非該当
		類似事業等との統合は可能か	<input checked="" type="checkbox"/>	困難である	<input type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input type="checkbox"/>	非該当

令和5年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
消火栓の移設2件、補修10件となった。	東京都水道局が行う水道工事に係る消火栓管理費補償金及び消火栓設置費補償金を負担するものであり、毎年度、水道局から事業計画に基づき消火栓補償費が提示される。しかし、工事費の上昇等により補償費が増加傾向にあるため、予算額との調整が課題である。

【今後の方向性】	<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 縮小・見直し	<input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																					
消火栓の増設及び維持管理により消防施設の整備、充実を図るものであり、老朽の激しいものから順次補修等を行う。																									
				<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">今後の方針</th> </tr> <tr> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </thead> </table>			今後の方針			コスト			成果	向上				維持		○		低下			
		今後の方針																							
		コスト																							
成果	向上																								
	維持		○																						
	低下																								
(廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要)																									



武蔵村山市 令和6年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	交通安全対策事業		
	施策名称	第3章 安全で快適なまちづくり 第1節 安全・安心 3 交通安全		
	所管部署	都市整備 部	道路下水道 課	維持補修 係 内線 263
	根拠法令等	—		
	目的	小学校の通学路について、毎年関係機関等（警視庁・学校・PTA・教育委員会、防災安全課及び当課）による合同点検を実施し、その改善要望を勘案して交通安全施設を整備することにより道路環境の改善を図る。		SDGsの取組 11 住み続けられるまちづくりを 
内容	通学路合同点検等によって抽出された危険性のある交差点等に①カラー舗装、②道路反射鏡、③自発光板、④外側線、⑤段差等解消等の工事を施工する。			

評価指標	指標名	単位	区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度
				1	道路反射鏡設置工	箇所
			実績	3	9	
			達成率	30%	225%	
2	交差点改良工事等	箇所	目標	10	5	5
			実績	10	3	
			達成率	100%	60%	


事業経費		令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度予算	市民・議会等から寄せられた意見
事業費（千円）		16,013	12,345	11,900	
財源内訳	一般財源	16,013	12,345	11,900	
	国都支出金	0	0	0	
	その他	0	0	0	
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）	3,821	3,846	3,916	
	所要人員（人）	0.50	0.50	0.50	
	会計年度任用職員（千円）	0	0	0	
	所要人員（人）	0.00	0.00	0.00	
合計（事業費+人件費）		19,834	16,191	15,816	

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か	
		<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある
有効性	市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		<input type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
効率性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない <input type="checkbox"/> 非該当
	受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
	施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある
民間委託等は可能か	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
	事業費の更なる削減は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
	類似事業等との統合は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当

令和5年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
●交通安全施設整備工事（11,415,800円） ●防犯灯設置工事（928,400円）	全国的に通学路や幼稚園、保育園付近で発生する重大な交通事故が後を絶たないことから、市民及び議員からの要望が多い。また、安全対策費を要する案件も少なくない。

今後の方針																								
【今後の方向性】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了 安全で円滑な交通環境を確保するため、各種交通安全施設の計画的な整備が求められており、通学路合同点検等によって抽出された危険箇所に対する対策を講ずることから、今後も継続する必要がある。視認性の悪い交差点への道路反射鏡の設置や、カラー舗装、区画線の引き直し、路面標示シートの設置など交差点改良工事を行うことにより安全性の向上を図る。	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">今後の方針</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要)</p>	今後の方針		コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
今後の方針		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持		○																					
	低下																							

武蔵村山市 令和6年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	防犯灯設置事業		
	施策名称	第3章 安全で快適なまちづくり 第1節 安全・安心 4 防犯対策		
	所管部署	都市整備 部	道路下水道 課	維持補修 係 内線 263
	根拠法令等	—		
目的	照度が低い路線（箇所）にLED防犯灯を設置することにより、夜間に市民が安心して通行できる安全・安心のまちづくりを推進する。		SDGsの取組 11 住み続けられるまちづくりを	
内容	令和5年度末現在で5,049基の防犯灯が設置されているが、一部の生活道路等は未設置である。 防犯灯の設置に当たっては、市民からの依頼を受けた議員要望も多く、順次新設している。			

評価指標	指標名	単位	区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度
				1	防犯灯設置工	箇所
			実績	6	19	
			達成率	60%	190%	
2	—	—	目標	—	—	—
			実績	—	—	
			達成率	—	—	

事業経費		令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度予算	市民・議会等から寄せられた意見	
事業費（千円）		198	929	900		市民及び議員から、毎年10件程度防犯灯の新設に関する要望が寄せられている。
財源内訳	一般財源	198	929	900		
	国都支出金	0	0	0		
	その他	0	0	0		
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）	765	770	784		
	所要人員（人）	0.10	0.10	0.10		
	会計年度任用職員（千円）	0	0	0		
	所要人員（人）	0.00	0.00	0.00		
合計（事業費+人件費）		963	1,699	1,684		

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か	
		<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある
有効性	市民との協働により事業を実施しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		<input type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
効率性	民間委託等は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない <input type="checkbox"/> 非該当
		<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある
効果性	事業費の更なる削減は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当

令和5年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
防犯灯については、市民要望等により19箇所電柱共架等で新設し、宅地開発により29箇所の移管を受けた。	東京都が管理する空堀川の管理通路に対する設置要望については、区間が長距離に及ぶため、多額の費用を必要とする。

今後の方針																								
【今後の方向性】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																								
市民及び議員からの要望により、道路、住宅地、公園等に順次LED防犯灯を設置し、防犯設備の整備及び維持管理に取り組むことにより、市民が安全・安心して暮らせるまちづくりを推進する。	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">今後の方針</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	今後の方針		コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
今後の方針		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持		○																					
	低下																							
(廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要)																								

武蔵村山市 令和6年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	登下校路防犯カメラ設置事業		
	施策名称	第3章 安全で快適なまちづくり 第1節 安全・安心 4 防犯対策		
	所管部署	教育 部	教育総務 課	学事 係 内線 422
	根拠法令等	武蔵村山市立小学校の通学路における防犯カメラの管理及び運用に関する要綱		
	目的	学校、地域等が連携して行う登下校時の通学路における児童の見守り活動を補完するため、防犯カメラを設置し、安全確保の強化を図るものである。	SDGsの取組 11 住み続けられるまちづくりを	
内容	各地域において、学校、PTA又は地域により取り組まれている子ども見守り活動（登下校時の見守りやパトロール等）の補完を目的として通学路に防犯カメラを設置する。			

事務事業の実施状況	評価指標	指標名	単位	区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
		1	防犯カメラの新規設置台数	台	目標	3	2	2
					実績	2	1	
					達成率	67%	50%	
		2	通学路上の不審者情報件数	件	目標	—	—	—
					実績	19	12	
	達成率				—	—		
	事業経費				令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度予算	市民・議会等から寄せられた意見 第三小学校から児童が通う道に防犯カメラを設置してほしいとの要望がある。
	事業費（千円）				1,276	941	1,992	
	財源内訳	一般財源				176	941	
国都支出金				1,100	0	0		
その他				0	0	0		
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）				688	347	353	
	所要人員（人）				0.09	0.05	0.05	
	会計年度任用職員（千円）				0	29	26	
	所要人員（人）				0.00	0.02	0.02	
合計（事業費+人件費）				1,964	1,317	2,371		

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある
	有効性	市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない <input type="checkbox"/> 非該当
	効率性	受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある
	効果性	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		事業費の更なる削減は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		類似事業等との統合は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当

所管課の評価	令和5年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
	第三小学校区に1台設置した。	防犯カメラの耐用年数は5、6年であるが、防犯カメラの維持管理に係る費用負担の軽減を図る観点からは、耐用年数による一律での更新を行わない。毎年保守点検を行い、故障等により修理が必要となった場合は、当該年度内に修理を行っていきたい。

所管課の評価	今後の方針																							
	【今後の方向性】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																							
	通学路における児童の安全確保のため、引き続き、学校や各機関と連携するとともに、通学路合同点検等の情報を踏まえ、必要に応じて防犯カメラの増設について検討を行う。																							
	なお、令和6年度は、第三小学校区に2台設置する予定。																							
	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">今後の方針</td> </tr> <tr> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>						今後の方針			コスト			成果	向上				維持		○		低下		
		今後の方針																						
		コスト																						
成果	向上																							
	維持		○																					
	低下																							

(廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要)